

NPO法人CRファクトリー 2019年度事業計画書

1. 2019年度の事業方針

■コミュニティマネジメントの教科書の制作

15年のノウハウを結晶化した、書籍「コミュニティマネジメントの教科書」を制作し、2020年2月～3月に発行予定です。図表もまじえた150ページ程度になる見込みです。日本財団の助成金も得て、全国のコミュニティ運営者のもとに届けるための全国展開への準備も並行して行います。

■各地のパートナーと連携したスケールアウトの取り組み

E-learning、コミュニティキャピタル診断、コミュニティエンパワメントラボをはじめとしたプログラムを、いよいよ各地のパートナーと連携しながら全国展開させていく実態が増えています。直営事業やコミュニティフォーラムで関係性をつくってきたパートナーたちとともに、ビジョンを共有しながら推進していきます。

■CRファクトリー自身の人と組織の基盤強化

数年をかけて管理部を中心としたガバナンス・体制構築を進めてきて、かなり基盤が整ってきました。2019年度はそれに加えて、組織図の再設計、決裁権の明確化、メンバーの理念共感・自己有用感・居心地の良さを高めるギャザリングなどの施策を打つ予定です。

■15年を一区切りとしたビジョンの再構築に向けた議論の開始

ビジョン・ミッションの再構築（拡張）に向けて、徐々に議論を開始しました。コミュニティフォーラム2019を契機に、「人がコミュニティに関わる・所属する力」と「コミュニティを運営する力」の両面を育み、いかに多くの人の幸せにいかに寄与するか、ということについて、改めて考え始めています。

■大学との共同研究の多角的展開

数年間継続的に「コミュニティの価値の可視化」に取り組んでいる上智大学とのコミュニティキャピタル研究会をひとつの基盤としながら、他大学との共同研究も多角的に展開しています。その先駆けとなった千葉大学との「健康度（認知症予防・介護予防）」とコミュニティコミュニティキャピタルとの相関を見る共同研究は昨年度調査を終え、現在は分析の段階で、研究成果が待たれています。今後も、コミュニティの重要性のエビデンスをつくることで、価値の発信や政策提言につなげていきます。

2. 事業別計画

（1）人々が居心地良くイキイキと活動するための組織基盤づくりを支援する事業

■セミナー・イベント

数値目標：450名（30回）		売上目標：900,000円
事業方針	従来のコミュニティマネジメントに関するセミナーのほか、コミュニティの大切さについて気づきを得られるイベント、コミュニティ運営者同士の学び合い・教えあいの場もつくります。	

■コミュニティ塾

数値目標：13名	売上目標：390,000円
事業方針	受け入れ人数を拡大しながら、塾生同士の信頼関係・相互理解を育む工夫を取り入れていきます。

■オンライン・コミュニティ塾

数値目標：10名	売上目標：200,000円
事業方針	スクーリングが主体となる実態に合わせて、プログラムの名称変更を検討しています。

■コミュニティキャピタル診断

数値目標：30団体／中間支援提供3団体	売上目標：1,200,000円
事業方針	基本的な診断提供はコンスタントに実施し、中間支援組織を介した提供や、企業や個別団体向けのカスタマイズ提供に着手します。

■コミュニティエンパワメントラボ

数値目標：東京開催12名／愛知開催4名	売上目標：460,000円
事業方針	ブラッシュアップを続けて確立されつつあるプログラムを着実に開催するほか、過去の受講生の働きかけにより、愛知県豊橋市でも開催します。

■個別研修

数値目標：20団体	売上目標：1,500,000円
事業方針	NPO団体の個別ニーズに応じた研修やワークショップを提供します。今年度はラボ受講生が経営する企業での年間を通した研修出講も行います。

■コンサルティング

数値目標：5団体	売上目標：1,400,000円
事業方針	スマイルオブキッズ、THE TOKYO TOWERS、マドレボニータをはじめ、NPO団体の組織基盤強化のためのコンサルティングを行います。

（２）中間支援組織等と共に組織基盤づくりを支援するパートナーシップ事業

■まつどNPO協議会

２年間をかけてトヨタ財団の助成を得ながら取り組んだ通いの場の担い手育成の取り組みはいったん終了しましたが、今後は実証研究の成果を発信していきながら、オンライン・コミュニティ塾などを活用したパートナーシップ事業はさらに拡大していきます。

■こまちぷらす

２年間をかけて日本財団の助成を得ながら取り組んだ地域の担い手育成プログラムの成果をベースとしながら、さらなる研究や事業展開を広げていきます。

■北海道つよくあたたかい組織を増やす実行委員会

今年度も実行委員会が主催するフォーラムへの登壇を予定しています。

■鎌ケ谷マネジメントラボ

鎌ケ谷市の地域づくりコーディネーター養成講座の運営を共同で行なっており、移管範囲を徐々に広げています。

■おっちラボ

島根県雲南市での人材育成プログラム「幸雲南塾」の運営を一部共同で行なっていきます。ゆくゆくはオンラインコミュニティ塾の開催、インストラクター養成などのパートナーシップも見込んでいます。

■DNA

高崎市の学校教員などを対象としたオンラインコミュニティ塾の開催を予定しています。

■NPO法人はたらくらす

川崎市幸区でのオンライン・コミュニティ塾の開催に向けて準備中です。

■新潟NPO協会

魚沼市でのコミュニティの担い手育成の取り組みがいったん終了し、今後の連携については模索中です。

（３）全国に「強くあたたかい組織」を溢れさせるための普及育成事業

■セミナー

数値目標：80件		売上目標：3,200,000円
事業方針	広く積極的に全国の中間支援組織に情報提供を行いながら、認定インストラクターとともに広く普及を行います。	

■インストラクター養成

数値目標：8名	売上目標：720,000円
事業方針	既存のメンバー3名に加えて、今年度5名が加わり、認定インストラクターが8名になることを見込んでいます。

■オンラインコミュニティ塾全国展開

数値目標：2地域	売上目標：400,000円
事業方針	各地の中間支援組織を開催ホストとして、CRファクトリーからはコンテンツ提供・コーディネーター研修を行います。千葉県松戸市、群馬県高崎市に展開予定です。

■コミュ助

数値目標：8セット	売上目標：20,000円
事業方針	完全オンラインで提供可能なコンテンツとして、物理的制約に関わらずコミュニティマネジメントについて学ぶ機会を提供します。

■書籍

数値目標：60冊	売上目標：45,000円
事業方針	「コミュニティ白書2016」「NPOの組織マネジメントノウハウコレクション」について、オンライン販売とセミナー会場等での販売を行います。

■コミュニティマネジメントの教科書

日本財団の助成を受けて、15年のコミュニティマネジメントの知見を体系化した書籍として制作・出版します（150ページ前後の予定）。

合わせて、日本財団の戦略と協調する形で、難病の子どもと家族を支援する団体のコミュニティづくりへの調査・支援を行います。

■地球環境基金

環境NPO団体の若手リーダーを対象とした人材育成プログラムのアドバイザーと研修出講を担います。

（４）地域に元気な団体と個人を増やすために自治体と連携して地域づくりを支援するアウトリーチ事業

■中央区

数値目標：120名（6回）		売上目標：1,140,000円
事業方針	「地域コミュニティの担い手養成塾」として、協働事業提案から始まり5期目の実施となります。6回の連続講座、修了生のフォローアップ、活動事例のレポート化を行います。	

■鎌ヶ谷市

数値目標：250名（10回）		売上目標：1,234,000円
事業方針	「地域づくりコーディネーター養成講座」として、4期目の実施となります。コーディネーター養成はビジョン・戦略と完全には一致しない部分があるため、徐々に地元の中間支援組織（鎌ヶ谷マネジメントラボ）に事業移管する方向です。	

■武蔵野市市民活動推進課

数値目標：—		売上目標：1,350,000円
事業方針	「コミュニティ未来塾」というプロジェクト名で、これまで2年間コミュニティの担い手育成を行なってきましたが、今年度は修了生を中心として地域の交流の場づくりを企画・実践するためのコンサルティングを担うこととなります。	

■武蔵野市企画調整課

数値目標：—		売上目標：480,000円
事業方針	行政の長期計画策定に向けた市民ワークショップの企画運営コンサルティングを行います。	

■中野区地域活動推進係

数値目標：120名（6回）		売上目標437,400円：
事業方針	市民活動団体の運営者育成のため、コミュニティ塾の内容をほぼそのまま提供する予定です。	

■中野区基本構想係

数値目標：—		売上目標：1,339,200円
事業方針	行政の基本構想・基本計画策定に向けた区民ワークショップの企画運営コンサルティングを行います。	

■横浜市

数値目標：15名		売上目標：800,000円
事業方針	横浜市各区で行われてきた「地域づくり大学校」の卒業生を対象に、コミュニティ・エンパワメント・ラボのカスタマイズ版を実施する予定です。	

■アドボカシー

地方自治体や国のコミュニティ政策に対しての提言を進めていくため、専門家（シーズなど）と協力しながら、提言内容の研究やポジションを築くためのロビーイングなどを行います。

（５）「強くあたたかい組織」つくるためのノウハウ研究・開発、「つながりとコミュニティの重要性」についての研究・エビデンスづくりを行う調査・研究事業

■事例・ノウハウ研究

関係性のあるコミュニティリーダー・スタッフとともにディスカッションの場を重ねながら、事例・ノウハウの共有と研究を行います。

■コミュニティキャピタル研究会（上智大学）

引き続きコミュニティキャピタル診断を活用した研究を行いながら、NPO団体以外の領域に向けた診断開発も検討していきます。

■企業版コミュニティキャピタル研究会（慶應大学）

慶應大学の前野教授とともに、「幸せの4因子」とも連携しながら、企業内のコミュニティ感覚を数値化・可視化する研究を進めていきます。

■幸せなコミュニティ研究会（慶應大学）

慶應大学の前野教授とCRファクトリーが中心になって、複数の研究者、複数のNPO団体経営者とともに、幸せなコミュニティとは何か、その因子とは何か、という研究を進めていきます。

■住民主体の共生型地域づくり研究（慶應大学）

「住民主体の共生型地域づくり及びその社会的価値の見える化と地域マネジメントに関する研究」に、現場の識者のひとりとしてCRファクトリーが加入します。